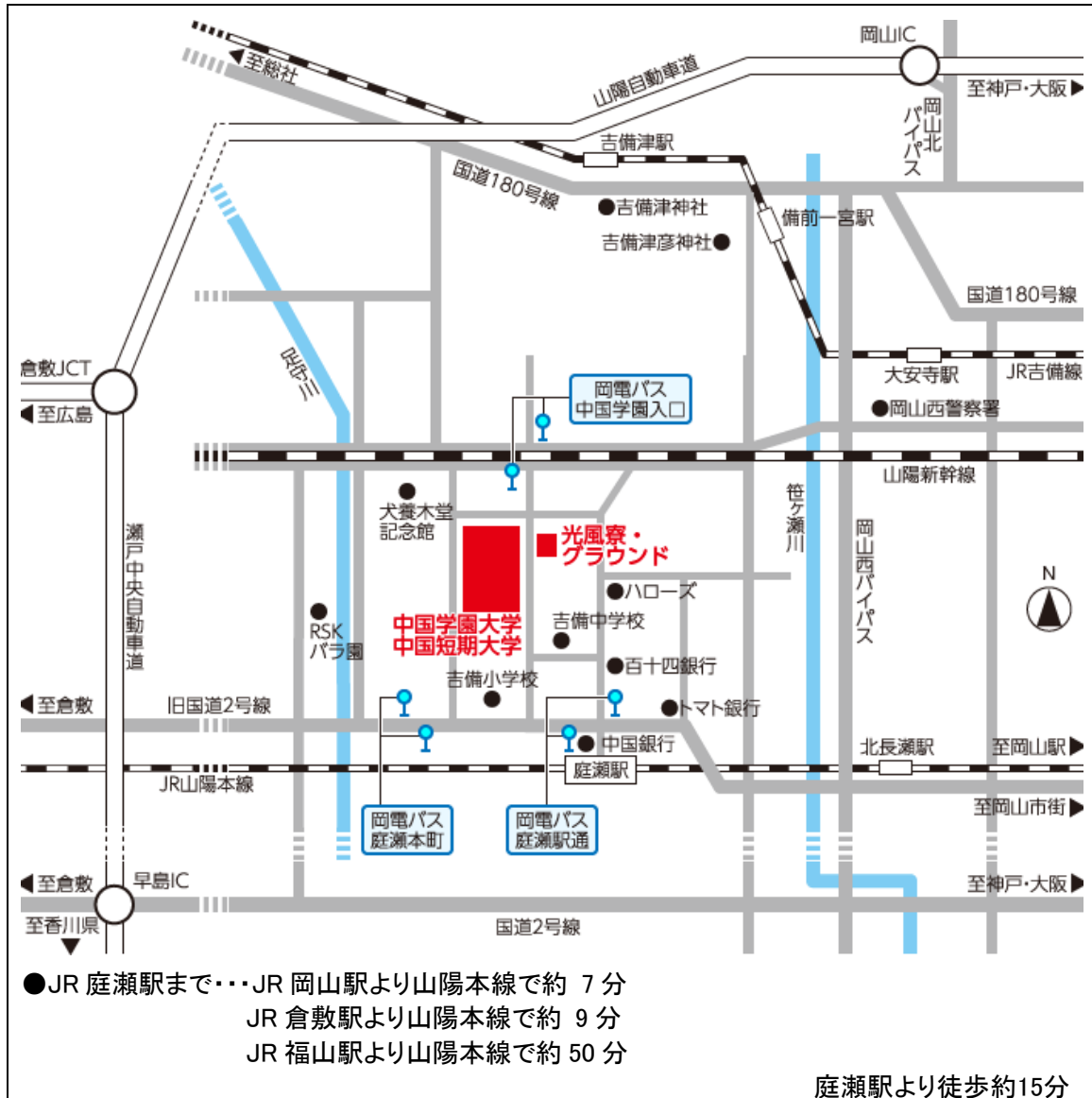


(14) 中国学園大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2025年4月9日	～	2025年7月29日
	後期	2025年9月24日	～	2026年1月27日
試験期間	前期	2025年7月30日	～	2025年8月5日
	後期	2026年1月28日	～	2026年2月3日
授業時間	1限	9:20	～	10:50
	2限	11:00	～	12:30
	3限	13:10	～	14:40
	4限	14:50	～	16:20
	5限	16:30	～	18:00

② アクセス(案内図)



③ 担当窓口

教務課	
所在地	岡山市北区庭瀬 83 本館 2 階 事務局 教務課
電話	086-293-0542

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

本学では、申込期限は前期:4月3日(木)まで、後期:9月17日(水)までとします。
 ※所属大学によって、提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。

・ 履修手続

所属大学の窓口にて所定の期間内に単位互換履修願(写真添付)を提出してください。

対面授業科目を履修する方

初回授業で来学の際に以下の印刷物等を配付します。また、講義室の場所等の説明も行いますので、初回は時間の余裕を持って教務課窓口まで来てください。

- ① 学生便覧
- ② 授業時間割表
- ③ シラバス(該当科目)
- ④ 学生証(単位互換履修生証)
- ⑤ 図書館案内

・ 施設利用

中国学園大学在学の学生と同じ扱いとします。図書館・学食等が利用可能です。
 図書館の利用方法は、図書館カウンターで、単位互換履修生証と所属大学の学生証を提示してお尋ねください。

・ 特記事項

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://www.cjc.ac.jp/campuslife/syllabus.html>
 (中国学園大学・中国短期大学HP →Web シラバス)

・対面授業科目

対面授業			14001	
授業科目名:観光英語A			担当教員氏名: 佐々木 真帆美	
Tourism English A				
2～4年次	2単位	前期	2コマ	
<p>【授業の目的】 授業概要:本講義では、海外を旅行する際、誰かを海外に連れて旅をする際に必要な知識と観光英語を学ぶ。言語を習得するには、繰り返し聴き、話すことが必要となるが、授業中に観光で想定される場面での会話練習の機会を増やすためにも、テキストを用いた予習は必須である。英語で国内外の観光地を紹介する練習として、プレゼンテーションを実施する。中間・期末試験には、プレゼンテーションで取り上げられた国内外の観光地に関する問題も含まれる。</p> <p>【到達目標】 本講義では、観光に関連したテーマを扱うテキストを用いて、実用的な語彙の増強を図りつつ、日常的な会話表現を含んだ実践的な英語表現を学ぶ。英語によるコミュニケーション能力の向上を目指すと同時に、観光に関連したテーマの語彙・表現、背景となる海外の旅行地理などを学び、定期的に小テストで学力定着を確認することで「観光英語検定」対策も併せて行う。海外での旅行・観光の際に想定される様々な場面において、英語での円滑なコミュニケーションができるようになることを目指す。なお、本科目はディプロマ・ポリシーに掲げた学士力の内容のうち、〈知識・理解〉〈技能〉の修得に貢献する。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ツーリズム・イングリッシュとは？ 観光英語と旅行地理の必要性 2. Unit 1 Travel 旅行の計画を立てる際の英語表現と語彙を学ぶ。 3. Unit 2 Jobs and People 観光業に関する職種とその業務内容を英語で学ぶ。 4. Unit 3 Getting on the Plane 飛行機に搭乗する際の英語表現と語彙を学ぶ。 5. Unit 4 At the Immigration and Customs 出入国管理と税関で行われる手続きとその際に使われる英語表現と語彙を学ぶ。 6. Unit 5 At the Airport 空港内の施設に関連した英語表現や語彙を学ぶ。 7. Unit 6 Hotel(Accommodations) ホテルでのチェックインやチェックアウト時に使われる英語表現や語彙を学ぶ。 8. 観光英検にチャレンジ(1) Unit 1～Unit 6 に関する観光英検の問題に挑戦する。 9. Unit 7 Restaurant(Breakfast and Fast Food) レストランで注文をする際の英語表現や語彙を学ぶ。 10. Unit 8 Sightseeing 観光ツアーを申込み際に使われる英語表現や語彙を学ぶ 11. Unit 9 Shopping ショッピングの際に使われる会話表現や語彙を学ぶ。 12. Unit 10 Transportation 交通機関を利用する際に使われる会話表現や語彙を学ぶ。 13. Unit 11 Problems and Complaints 海外旅行で起こりうる問題と苦情を訴える表現や語彙を学ぶ。 14. Additional Unit Traveling in Japan 日本国内の旅行について英語で説明をする。 15. プレゼンテーション 国内外の観光地を英語で紹介する。 16. 観光英検にチャレンジ(2) Unit 7～Additional Unit に関する観光英検の問題に挑戦する。 				

【テキスト】

書名:CD 付 ステップアップ観光英語 Basic／著者名:観光英検センター／出版社:三修社
価格:2,000円＋税／ISBN:978-4-384-33437-1

【参考図書】

【成績評価の方法】下記の成績を基準に評価する。

- ・定期試験(40%)
授業内容と国内外の観光地に関する知識の理解度を評価する。(中間試験も評価対象となる)
- ・授業への取り組みの姿勢／態度(20%):
意欲的な受講態度, 予・復習の状況によって評価する。
- ・小テスト(20%)
毎授業開始時に前回の授業内容に関して小テストを行う。小テストで観光英語の理解度を評価する。
- ・その他(20%)
海外の観光地に関するプレゼンにより評価。課題のテーマについて調べ適切にまとめ, わかりやすい発表を行うこと。発表のフィードバックは授業時に全体に対して行う。

・対面授業科目

対面授業		14002	
授業科目名:英語プレゼンテーション		担当教員氏名: 藤代 昇文	
English Presentation			
3～4年次	2単位	前期	1コマ
<p>【授業の目的】 授業概要: テキストや事前に配布された英文資料を読んだり聞いたりしてプレゼンテーションの基礎を理解する力の養成に努め、学んだり経験したことに基づいて、その情報や自分の考え方をまとめて英語でプレゼンテーションする演習を行う。また、発表された情報や提案を聞いたり読んだりして、自己の立場に基づいて質問したり意見を述べたりする活動を行う。</p> <p>【到達目標】 英語を通して、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながらまとまりのある情報や提案を分かり易く伝える能力を養う。また、英語を通して、発表された情報や提案を的確に理解し、自己の立場に基づいて質問したり意見を述べたりする能力を養う。 なお、本科目はディプロマ・ポリシーに掲げた学士力の内容のうち、〈思考・問題解決能力〉〈技能〉の修得に貢献する。</p>			
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 意味を知る: 英語によるプレゼンテーションとは 「プレゼンテーション」の意味等の基礎知識について解説。プレゼンテーション5つの目的分類、プレゼンテーションとスピーチの違いなどについて解説する。 対象と目的を意識する: プレゼンテーションは何のために誰のために 目的を明確にし、必要な事前分析を行うことの必要性について解説する。 大切な要素を知る: プレゼンテーション成功のための3要素 「伝える方法」「伝える内容」「伝える順序」について解説する。 プレゼンテーション演習準備(グループ): 発明品 方法を考える: 伝えたいことをいかに伝えるか 伝達手段と伝える技術(言語と非言語による伝達、表現方法)、違いを生み出すデリバリー技術について解説する。 プレゼンテーション演習準備(グループ): 発明品 内容を定める: 何を伝えるかを吟味する テーマに応じてプレゼンテーションの内容を決定する。 グループ・ペアでの議論の仕方: プレーンストーミング・KJ法について解説する。 プレゼンテーション演習準備(グループ): 発明品 実際に英語プレゼンテーションをしてみよう①(グループ発表) 各グループの発明品についてプレゼンテーションを行う。 相互評価及び教師によるコメントにより修正すべき点を確認する。 構成を考える: いかに分かりやすく伝えるか 分かりやすい話の組み立て方(「導入」⇒「本論」⇒「結論」)について解説 プレゼンテーション演習準備(個別): 身近な話題・関心のある事 磨きをかける: 改善のための方法 動画を用いた振り返りとメタ認知について解説。 プレゼンテーション演習準備(個別): 身近な話題・関心のある事 評価する: プレゼンテーション評価の規準 評価者の目で自分のプレゼンテーションを見直すこと、他人のプレゼンテーションを評価の観点から見る必要性について解説。 プレゼンテーション演習準備(個別): 身近な話題・関心のある事 実際に英語プレゼンテーションをしてみよう②(個人発表1: 前半) 身近な話題・関心のある事について各個人別に全体発表を行う。発表の様子を動画で振り返り、相互評価及び教師によるコメントにより修正すべき点を確認する。 実際に英語プレゼンテーションをしてみよう②(個人発表2: 後半) 身近な話題・関心のある事について各個人別に全体発表を行う。 発表の様子を動画で振り返り、相互評価及び教師によるコメントにより修正すべき点を確認する。 			

12. プレゼンテーションのテーマについて英語でディスカッションしてみよう1
 グループで地元について英語で話し合い、英語でレポートする。
 英語のプレゼンテーション動画を真似してみよう
 TEDの中から1つ動画を選び真似て発表する練習する。
 プレゼンテーション演習準備(個別):社会的な課題について
13. プレゼンテーションのテーマについて英語でディスカッションしてみよう2
 グループですきな音楽について英語で話し合い、英語でレポートする。
 英語のプレゼンテーション動画を真似してみよう
 TEDの中から1つ動画を選び真似て発表する練習する。
 プレゼンテーション演習準備(個別):社会的な課題について
14. 実際に英語プレゼンテーションをしてみよう③(個人発表1:前半)
 社会的な課題について各個人別に全体発表を行う。発表の様子を動画で振り返り、相互評価及び教師によるコメントにより修正すべき点を確認する。
15. 実際に英語プレゼンテーションをしてみよう③(個人発表2:後半)
 社会的な課題について各個人別に全体発表を行う。発表の様子を動画で振り返り、相互評価及び教師によるコメントにより修正すべき点を確認する。

【テキスト】

書名:英語プレゼンのトリセツ/著者名:藤代昇丈/出版社:日本橋出版/価格:1,600円+税
 ISBN:978-4-434-27950-8

【参考図書】

【成績評価の方法】下記の成績を基準に評価する。

- ・授業への取り組みの姿勢/態度(30%)
 意欲的な受講態度, 予習の状況及び授業への貢献度を評価する。
- ・レポート(30%)
 課題のテーマについて適切にまとめてあるかを評価する。課題提出後の授業で、グループワークを通して発表及び相互評価を行い、内容についてコメントし、フィードバックを行う。
- ・その他(40%)
 積極的に自分の考えをプレゼン発表できるかを評価する。

・対面授業科目

対面授業		14003																	
授業科目名:解剖生理学Ⅱ		担当教員氏名:井之川 仁																	
Anatomy and Physiology II																			
2～4年次	2単位	後期	1コマ																
<p>【授業の目的】 授業概要:管理栄養士として栄養指導を行うためには、栄養がどのように人体で利用されるかを知らなければならない。解剖生理学の講義は、身体の深遠な複雑性と栄養の本質について深く理解する上で不可欠であり、身体がどれほど神秘的で複雑な構造と機能を持つかを認識する手段である。身体は単なる機械ではなく、骨格、筋肉、器官、神経などが織り成す一つの芸術品とも言える。解剖生理学を学ぶことで、栄養がどのように身体全体で吸収され、代謝され、エネルギーとなっているかを理解する手助けとなる。身体の構造と栄養の交わりは、個々の細胞から全体の健康へと繋がる。身体の各部位が自然の秩序に従い、運動し、器官や組織は個別に機能するだけでなく、全体としての連携を保ちながら生命の秩序を構築している。このことを理解することは、栄養をもとに心身の全体的な健康を追求する根拠となる。本講義では人体の構造(解剖学)と機能(生理学)についての基礎となる解剖生理学Ⅰをふまえ恒常性の維持や個体としての統合された生理機能発現の仕組みを中心に講義する。</p> <p>【到達目標】 本講義を受講することで、管理栄養士として身につけておくべき人体の構造と機能について各系統レベルでの基礎に加え、発展的な内容を理解し説明できるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各系統レベルでの機能に加え、他の器官との相互作用を説明できる。 ・個体としての統合された生理機能の仕組みを説明できる。 ・恒常性の破綻が引き起こす幾つかのメカニズムや症状を説明できる。 <p>なお、本科目はディプロマ・ポリシーに掲げた学士力のうち、〈知識・理解〉および〈思考・問題解決能力〉の修得に貢献する。</p>																			
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 体温</td> <td>9. 水電解質の調節機構</td> </tr> <tr> <td>2. シナプス伝達</td> <td>10. 循環器系</td> </tr> <tr> <td>3. 自律神経系・脳神経系</td> <td>11. 呼吸器</td> </tr> <tr> <td>4. 視床下部・延髄による制御</td> <td>12. レニン・アンジオテンシン・アルドステロン</td> </tr> <tr> <td>5. 内分泌系</td> <td>13. 生殖器系</td> </tr> <tr> <td>6. 骨とカルシウム代謝</td> <td>14. 免疫系</td> </tr> <tr> <td>7. 栄養素の消化吸収</td> <td>15. 感覚系</td> </tr> <tr> <td>8. 消化器官の統合的調節</td> <td></td> </tr> </table>				1. 体温	9. 水電解質の調節機構	2. シナプス伝達	10. 循環器系	3. 自律神経系・脳神経系	11. 呼吸器	4. 視床下部・延髄による制御	12. レニン・アンジオテンシン・アルドステロン	5. 内分泌系	13. 生殖器系	6. 骨とカルシウム代謝	14. 免疫系	7. 栄養素の消化吸収	15. 感覚系	8. 消化器官の統合的調節	
1. 体温	9. 水電解質の調節機構																		
2. シナプス伝達	10. 循環器系																		
3. 自律神経系・脳神経系	11. 呼吸器																		
4. 視床下部・延髄による制御	12. レニン・アンジオテンシン・アルドステロン																		
5. 内分泌系	13. 生殖器系																		
6. 骨とカルシウム代謝	14. 免疫系																		
7. 栄養素の消化吸収	15. 感覚系																		
8. 消化器官の統合的調節																			
<p>【テキスト】 書名:解剖生理学 第3版/著者名:志村 二三夫 他/出版社:羊土社/価格:2,900円+税 ISBN:9784-7581-1362-5</p>																			
<p>【参考図書】『標準生理学』、『現代の生理学』、『医科生理学展望』</p>																			
<p>【成績評価の方法】下記の成績を基準に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験(70%) 最終的な理解度を評価する。 ・授業への取り組みの姿勢/態度(20%) 課題の得点と取り組みにより評価する。課題の傾向について講評する。 ・小テスト(10%) 各講義の理解度を評価するため小テストを行う。小テストについての解説講評を行う。 																			

・対面授業科目

対面授業			14004		
授業科目名: 児童英語演習			担当教員氏名: 西田 寛子		
Courses on Teaching Elementary School					
2～4年次	1単位	後期	1コマ		
<p>【授業の概要と目的】 授業実践に必要な英語教育の理論的側面を概観し、その理論の実践面への応用を目指す。そのために、小学校の授業観察・分析や受講生による模擬授業・ディスカッションを通して指導の改善を行う。また、幼児英語教育との接続の観点から、こども園での英語の模擬保育も実施する。将来学校現場において、理論に裏打ちされた実践力を備え、自律的に学び続けるリフレクティブな教師となる基本を身に付ける。</p> <p>【到達目標】 ・英語によるコミュニケーションの指導や、ことばへの気づきをもたらす指導ができる。 ・小学生や就学前の子どもの英語学習への意欲・技能の向上を図ることができる。 ・英語で授業を行ったり、ALTとの打ち合わせを英語で実施したりできる。 ・パフォーマンス評価を行うことができる。 なお、本科目はディプロマ・ポリシーに掲げた学士力の内容のうち、＜思考・問題解決能力＞＜態度＞の修得に貢献する。</p> <p>【授業内容】 1. 実践に必要な理論の概観(小学校英語教育導入の背景・変遷, 外国語活動・外国語科の目標, 言語使用を通じた言語活動・音声によるインプット, 異校(園)種との連携・接続 等) 2. 実践に必要な理論の概観(学習指導要領の内容とその具現化に向けて 等) 3. 実践に必要な理論の概観(目的や場面・状況を明確にした言語活動, 学習評価, ALT との TT による指導の在り方 等), 実践に向けての演習(小学校英語の授業体験) 4. 小学校英語の授業観察・分析, 指導の改善に向けたディスカッション 5. 英語による保育の観察・分析, 指導の改善に向けたディスカッション 6. 学習指導案の作成 7. 学習指導案の修正・改善 8. 模擬授業準備(教材研究・作成, 指導・評価の計画作成, 授業練習)① 9. 模擬授業準備(教材研究・作成, 指導・評価の計画作成, 授業練習)② 10. 模擬授業・振り返り・指導の改善案作成① 11. 模擬授業・振り返り・指導の改善案作成② 12. 学外授業(小学校での授業実践)と省察 13. 学外授業(子ども園での英語保育実践)と省察 14. 小学校・こども園での指導の省察と指導の改善案作成 15. 講座全体の振り返りとまとめ * 学外授業については、受け入れ先との日程調整により、実施時期が前後する可能性がある。 上記予定が変更になる場合は、Google Classroom か G-mail で連絡する。 授業への参加を重視するため、授業 6 コマ相当の欠席で単位の履修が不可能となる。</p> <p>【テキスト】 書名:CROWN Jr. 5, CROWN Jr. 6 / 出版社:三省堂 / 価格:674 円(各 337 円) 書名:Let's Try 1, Let's Try 2 / 出版社:東京書籍 / 価格:510 円(各 255 円) 書名:『小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編』平成 29 年告示 / 出版社:開隆堂出版 価格:140 円</p> <p>【参考図書】 書名:小学校英語 はじめる教科書 外国語科・外国語活動指導者養成のために一コアカリキュラムに沿って一 / 出版社:mpi / 価格:2,420 円</p> <p>【成績評価の方法】下記の成績を基準に評価する。 ・授業への取り組みの姿勢(60%) 授業中のディスカッション, 授業実践・省察・改善での意欲的な態度を評価する。 ・レポート(40%) 理論と実践を往還しながら考えたことの記述内容や, 指導・評価計画(学習指導案)の内容を評価する。</p>					

・対面授業科目

対面授業			14005	
授業科目名:日本語教授法			担当教員氏名:岡本 輝彦	
Teaching of Japanese as a Foreign Language				
2～4年次	2単位	後期	1コマ	
<p>【授業の目的】 日本語を教えるとはどういうことなのか,教師に求められるものは何かについて説明し,指導法の基礎を身につけることを目標とする。</p> <p>【到達目標】 1.国語教育と日本語教育に対して正しく理解することができる。 2.外国人に対する日本語の教え方の基礎を理解することができる。 3.外国人に対する日本語教育における教室活動の方法を理解することができる。 4.日本語参照枠を正しく理解することができる。 なお,本科目はディプロマポリシーに掲げた学士力の内容のうち,〈知識・理解〉〈思考・問題解決能力〉の修得に貢献する。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 日本語を教えるとは 日本語教育において誰に,何を,どのようにを教えるのかを理解する。 国語教育と日本語教育 学校教育における国語教育と外国人学習者に対する日本語教育は異なる教育であることを学ぶ。 世界の言語から見た日本語 ほかの言語と対比しながら日本語の特徴を探るとともに日本語を教える際にどのように役立てていくかを考える。 音声・音韻 日本語の音の発声,意味の弁別するための音のパターンである音韻の構造を理解し,どのように役立てるかを学ぶ。 語彙(1)日本語の語彙体系を理解するとともに,理解語彙・使用語彙,基礎語彙・基本語彙などの違いを理解する。 語彙(2)日本語の語の種類,漢字,表記について理解するとともに,語の意味概念にも触れる。その上で外国人日本語学習者が学ぶべき語彙を学ぶ。 文法・文型(1)日本語教育で使用される文型や機能語について説明する。また,国語教育で使用されている文法ではなく,日本語教育文法にも学ぶ。 文法・文型(2)日本語のテンス・アスペクト,ヴォイス,モダリティなどを扱い,日本語教育にどのように役立てるかを学ぶ。 いろいろな教授法(1)伝統的な教授法を示すとともに,その利点と欠点を知る。 いろいろな教授法(2)1980年代に開発された教授法を示すとともに,その利点と欠点を知る。また,現在日本語教育機関ではどのような教授法が使われているかを学ぶ。 日本語教育の方法 日本語教育現場では何を中心に日本語を教えているかを学ぶ。実際に教室作業ではどのようなことが行われているかを知る。 コースデザイン(1)コースデザインとは何かを理解する。コースデザインは日本語コース全体の計画を立てることであるが,その考え方を学ぶ。 コースデザイン(2)コースデザインの考え方については前回学んだが,今回はコースデザインの事例を紹介しながらその実際を考える。 カリキュラムデザイン 日本語コースではニーズに沿うように到達目標が設定された上でシラバスが決定され,教授法や教材が選択されることになるが,どのようにカリキュラムを作成するかを学ぶ。 日本語教育参照枠 これから認定日本語教育機関では日本語教育参照枠という指標に基づいて日本語教育が行われるように文部科学省・文化庁国語課が規定しているが,日本語教育参照枠はCEFRをもとに作成されているため,CEFRの考え方を学ぶ。 				

【テキスト】

テキストは使用しない。

【参考図書】

- 1.鎌田修,川口義一,鈴木睦(1996)『日本語教授法ワークショップ』,凡人社
- 2.日本語教育学会(1995)『タスク 日本語教授法』,凡人社
- 3.国際交流基金(2007)『教師の役割/コースデザイン』,ひつじ書房

【成績評価の方法】下記の成績を基準に評価する。

- ・授業への取り組みの姿勢／態度(20%)
講義に対する積極性によって評価する。
- ・小テスト(60%)
教授法に関する理解度によって評価する。
小テストはコメントを加え,返却した後に,全員で内容を再確認する。
- ・口頭発表(20%)
口頭発表がテーマに沿った内容であったかどうか,質疑応答に対応できたかどうかで評価する。
口頭発表終了後に,コメントを加え,再確認する。

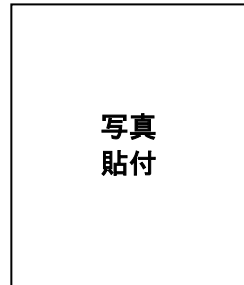
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

* 学生は太枠内のみ記入

中国学園大学長 殿

提出日	令和	年	月	日
ふりがな 氏名				印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部 年				学科
学生番号		性別	生年 月日	西暦 年	
		男・女		昭和・平成	年
現住所	〒 - Tel () -				

* 履修受付締切日：前期：4月3日(木)まで 後期：9月17日(水)まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当 学年	備考	曜日・時限	履修 希望	評価
対面授業科目										
14001	観光英語A	専門	佐々木 真帆美	2	前期	2~4	定員 10名	木 11:00~12:30		
14002	英語プレゼンテーション	専門	藤代 昇丈	2	前期	3~4	定員 10名	水 9:20~10:50		
14003	解剖生理学Ⅱ	専門	井之川 仁	2	後期	2~4	定員 10名	木 14:50~16:20		
14004	児童英語演習	専門	西田 寛子	1	後期	2~4	定員 10名	火 11:00~12:30		
14005	日本語教授法	専門	岡本 輝彦	2	後期	2~4	定員 10名	火 11:00~12:30		

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	単位互換科目 履修願用(本紙)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	1 枚	0 枚	2 枚